

Around

私たちが活動を始めた5、6年前に比べ、「イクメン」は社会に随分浸透してきたと感じます。子どもと自分で公園へ行き、抱っこひも姿で赤ちゃんと一緒に出かけられるお父さんが「カッコいい！」と思われる時代が来ています。

それでもまだ、男性の育児休業取得率が低かつたり、女性の家事負担が減らなかつたりする現状があります。それを変えるためのカギを握るのが「イクボス」です。

イクボスとは、ともに働く部下のワーク・ライフ・バランス(WLB)、仕事と生活の調和)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら業績も上げていく上司のこと。一方で今、企業や自治体などの50歳以上の管理職クラス

NPO法人「ファザーリング・ジャパン九州」

代表理事 小津智一さん 43



援しながら業績も上げていく上司のこと。一方で今、企業や自治体などの50歳以上の管理職クラス

は、多くが育児にほとんど関わらないで済んだ世代です。残業には当たり前、会社に遅くまで残ることを美德とする生き方が体に染みついています。

ただ、時代は変わりました。働きが増え、家事や育児を女性に任せきりにしていては、家庭が成り立たなくなつた。20、30歳代の中でも、組織のボスが率先してWLBを行う社員が増え、決してそういうボスも多かったのです。

私は、この傾聴から始めてで大変な中で済ませて帰れるだけでも、信頼を厚くしてお話しを聞くことができます。



手料理を囲んで育児談議を交わす「肥後パパ料理の水野さん(右手前)ら(熊本市中央区)」=板山辰

料理、読み聞かせ 仲



読み聞かせをする「えほん侍」の池田さん(右)(宮崎県三股町) =坂東峻一撮影

順位	県名	時間(分)
3	大分	63
17	福岡	41
24	沖縄	36
27	山口	35
27	長崎	35

6歳未満の子どもの1日あたりの

生活基本調査
歳未満の子どもの夫が1日じ
時間は全国平均の202分の

総務省の?